

# 鐘紡争議に關する聲明書

無産政黨の全的不信を招來した裏切者は誰ぞ？

我が日本共産黨支部は、神戸地方十萬の労働大衆の厚き支持の上、超て凡ゆる闘争を最も勇敢に闘ひ來つた。必然の結果として我黨は、勢力日に擴大し、空回りに扱へからざる組織力を神戸地方一圓に確立した。

この事は歴然として對立黨のみならず無産政黨幹部等の極度の憎惡となり、機會あらば我黨の根幹に一撃を加へ、以て殲ける日本共産黨神戸支部の名を葬らんとする陰謀となつた。

われらは此の事實を鐘紡兵隊工場會議に見る。即ち病體を推し、腹を空けて同非議に随ふたる我黨の河上丈太郎氏を傷くるために、彼等は本来の使命たる階級闘争を放棄して狂奔し、或は我黨の

躍居委員の承諾を得るにも拘はらず、無産政黨協議會の名に依り、我が「日本共産黨神戸支部」の名を濫用して十萬枚の聲明書を全國にまいたのである。この詐欺的行爲が我黨を葬らんとする憎くむべき目的の爲めに成されたことは明らかである。

神戸地方の全労働者諸君！  
われ等は斯くの如き彼等の行爲が未組織大衆の全無産政黨に對する不信を招來することを憂ふものである。然るが故に、われ等は極力かかる長期的裏切行爲を悔ひて

ある。

神戸地方の全労働者諸君！  
我が日本共産黨神戸支部の強大なる組織力と旺盛なる活動力は、此度の鐘紡争議を通じて成された来々無産政黨幹部等の小規模的策動を破つた。

しかも時は今、産業合理化の風吹き荒び、誠實に賃銀値下げ失業が全無産大衆の頭上に襲ひかかつてゐるのである！

この不安を一掃する爲めに争ふことは無産政黨に課せられた刻下の任務である！

わが日本共産黨神戸支部は此の使命の爲めに、即ち全無産階級の利益擁護の爲めに一路進撃しつゝあることを茲に聲明し、諸君に同き闘争を求めらるものである。

# 日本大衆黨神戸支部

一九三〇年五月十五

(在東京) 神戸市港通二丁目 取本